

キャラクター名
羽衣石 月夜(ういし つきよ)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	高校生	カヴァー	高校生		
	パロール			年齢	17	性別	女	
オプション	覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	45 %		
出自	18	結社の一員	経験	35	裏切った	邂逅	88	秘密

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	1	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
遺産継承者:誓約の瞳P		N		
結社員	P 有為	N 嫌悪		
鈴谷	P 好意	N 隔意		
依頼主の少女	P 尽力	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
黒の鉄槌	5	1	メジャー	視界	-	RC		
効果: [LV*2+2]の射撃攻撃 同一エンゲージ不可								
ナーブジャック	1	10	メジャー	視界	単体	RC	120	
効果: 対象にメジャーアクションを行わせる。使用回数制限のあるエフェクトは使用させられない シナリオ一回								
孤独の魔眼	2	4	オート	至近	自身	自動		
効果: [範囲(選択)]の攻撃判定の直前に使用する。その対象を貴方一人に変更する シナリオLv回								
原初の紫:妖精の手	2	5(4)	オート	視界	単体	自動		
効果: ダイスの出目1つを10に変更する シナリオLv回								
迎撃する魔眼	2	7	オート	視界	単体	RC	リミット	
効果: 《黒の鉄槌》のみを使用した射撃攻撃で反撃する								
原初の黒:鏡の盾	3	10(3)	オート	至近	自身	自動	100	
効果: ダメージが適用された直後に使用。[Lv*20]点までのダメージを対象に与える シナリオ一回								
暴食の魔王	1	5	オート	視界	単体	自動	120,飢餓	
効果: ダメージ+[Lv+2]D ラウンド一回 使用したラウンド中、判定ダイス-3個								
魔王の玉座	★	-	メジャー	至近	自身	自動		
効果: ゆったりと浮いた状態でいられる								
イージーフェイカー:ドクタードリトル	★	-(1)	常時	至近	自身	交渉		
効果: どんな生物ともコミュニケーションが取れる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

不思議な雰囲気を感じる光国高校の女子生徒。学校をしばしば欠席するものの学校側から黙認されているため、他の生徒からは何か秘密があると思われる。実際には、レネゲイド事件関連の事情があって学校を休んでいることより、自堕落な生活が祟ったり時間にルーズだったりして学校を休むことの方が多いダメ女子。過去の実験や思考を操作する能力の影響で、他人を信じることに拒否感がある。元々UGNで活動していた時には[相棒]までいたのだが…?

【詳細】
その高校の生徒なら一度は耳にしたことがあるのが羽衣石月夜の噂だ。学校には時折しか来ず、授業中でも不意に抜け出してそのまま戻ってこない。それを学校の教師も黙認している。その癖、夜に出歩いている姿はよく目撃される。親が超名家だの、実のところもう婚約者がいて将来は安泰だの、周辺の学校を絡めてシメただの、本業は高級女娼だの、実は留年していて実年齢は二十歳だの、とんでもない噂だけが一人歩きしている。噂同士が矛盾していて、生徒でもどれが真実が分かっていない。ただ、『もし非常に困ったことがあるなら羽衣石月夜に相談しろ』という噂だけは誰も信じている。そこに相談すれば何かが起きてくれると信じている。

羽衣石月夜は17歳、高校三年になる女子高生だ。秘密が多く、何か怖いものがある方が想像できないという浮世離れた人間である。名前にしても、そこはかとなく感じる非凡さのせいで『お嬢様ですか?』と訊ねられるが、中産階級の出身だ。ある事件のせいで入学してすぐ一か月ほど学校に行けず、いざ登校してみたら『普通の人間じゃない羽衣石月夜』のイメージが定着してしまっていた。面白がって虐められるようならともかく、人が寄り付かないだけなら都合がいいのでそのままにしている。というか、学校をサボる理由が詮索されにくい方が気楽だった。何となく、気が向いたときに困りごとを解決してやっている。全部を解決する気などなく、深刻そうなものだけ取り扱っていたら、割と深刻な物だけが依頼として舞い込むようになった。過去の依頼で一番困ったのは『他校に拉致された友人を取り戻す手伝いが欲しい』

羽衣石月夜は魔女だ。箒に乗って空を飛び、三角帽子を被っているあの魔女だ